

市町村合併に関する住民説明会

こんなに意見・質問が出されました



市では、10月9日から11月4日まで各地区ごとに市町村合併に関する住民説明会を開催しました。

13会場で開催された291人が出席。説明会では、大館市・比内町・田代町・小坂町任意合併協議会が策定した新市まちづくり構想と財政推計を中心に、合併に向けた市の取り組みについて説明し、市民の皆様からご意見、ご質問をお伺いしました。各会場での主なご意見・ご質問とそれに対する回答をお伝えします。

合併推進室

☎49 3111

(内線378)

A 合併によって経費の削減や職員数の余剰が生まれるので、その効果でサービスの向上や住民負担の維持を図りたいと考えています。法定協議会できちんと協議します。

説明会への出席者が少ないのは

Q 説明会への出席者が少なく、びっくりしています。周知方法に問題があるのではないですか
A 説明会の回数が比内町に比べて少ないのではないですか
Q 出席者が少ないのは関心がないからではなく、市の取り組みが次第で多くなるのではないのでしょうか
A 説明会の出席者が少ないと思います。合併の必要性が浸透しない中で進めるのでしょうか

Q 中心部で出席者が少ないのは、合併によって特にデメリットを受けると感じていないからではないのでしょうか
A 広報や市のホームページ、新聞などを通じてお知らせしました

合併のメリット、デメリットは

Q 合併で大館市が良くなるのですか、大館にメリットがあるのですか。

A 合併をしないで大館市単独では厳しいものがあります。少子高齢化で行政ニーズが高度化し専門職員の配置も必要です。サービスの水準を落とさないためにも、合併によって効率的な組織にしていく必要があります。1市3町はすでに人的にも物的にも交流が深く一体化していると考えます。

Q 合併にデメリットはないのですか。

A 合併のデメリットといわれるもの多くは、合併するしないにかかわらず、普段から課題として対処していくべきものであると考えています。
Q 合併特例債でどのような事業をしていくのですか。
A 法定協議会の中で具体的に協議していくこととなります。
Q 特例債で借金が増えるだけではないのですか。
A 特例債は後年度に一定の額が国から交付されるので、一般の借り入れより有利となります。
Q 合併がサービスの低下や負担増につながるのではないかと心配です。住民負担を低くすること、サービス向上とは結びつかないと思いませんか。